

2024 年 6 月 27 日 一部改正  
2024 年 1 月 30 日 技術委員会 審議  
2024 年 5 月 31 日 国土交通大臣 認可

## 小型船のアンカー設備

### 改正対象

鋼船規則 B 編及び CS 編  
鋼船規則検査要領 CS 編

### 改正理由

アンカー設備に関する IACS 統一規則 A1 は 1982 年の発行以降定期的に見直しが行われており、本会は改正が行われる毎に最新規定を鋼船規則等に取り入れている。

IACS は、小型船舶への適用を明確にするとともに、アンカー設備の要件に関して共通の基準を確保するために 2023 年にアンカー設備に関する IACS 統一規則 A1 及び IACS 勧告 No.10 の見直しを実施した。結果として、IACS は小型船舶のアンカー及びチェーンに関する新たな選定方法を規定するとともにワイヤロープの使用条件を明確にする IACS 統一規則 A1(Rev.8)及び IACS 勧告 No.10(Rev.5)を発行した。

今般、IACS 統一規則 A1(Rev.8)及び IACS 勧告 No.10(Rev.5)に基づき、関連規定を改める。

### 改正内容

主な改正内容は次のとおり。

- (1) IACS 統一規則 A1 に基づき、アンカー及びチェーンの選定に関する要件を規定する。
- (2) IACS 勧告 No.10 に基づき、チェーンのワイヤロープ代用条件に関する要件を規定する。

### 施行及び適用

2024 年 7 月 1 日以降に建造契約が行われる船舶に適用

ID: DX23-11

規則の節・条タイトルの末尾に付けられたアスタリスク (\*) は、その規則に対応する要領があることを示しております。

**「小型船のアンカー設備」 新旧対照表**

新	旧	備考
<b>鋼船規則 B 編      船級検査</b>  <b>2 章 登録検査</b>  <b>2.1 製造中登録検査</b>  <b>2.1.6 船上に保持すべき図面等*</b> -1. 製造中登録検査の完了に際しては、次に掲げる図面等のうち該当するものについて、完成図が船舶に備えられていることを確認する。 (1)は省略 (2) その他の手引書等 (a)から(y)は省略 (z) <u>スチール製ワイヤーの保守点検のための取扱説明書 (CS 編 23.1.4)</u>	<b>鋼船規則 B 編      船級検査</b>  <b>2 章 登録検査</b>  <b>2.1 製造中登録検査</b>  <b>2.1.6 船上に保持すべき図面等*</b> -1. 製造中登録検査の完了に際しては、次に掲げる図面等のうち該当するものについて、完成図が船舶に備えられていることを確認する。 (1)は省略 (2) その他の手引書等 (a)から(y)は省略 (z) (新規)	IACS UR A1(Rev.8) A1.5.1.3(e)
<b>附 則</b>  1. この規則は、2024 年 7 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。 2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあっては、この規則による規定にかかわらず、なお従前の例による。  IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009)  英文（正） 1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all	仮訳 1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者	

## 「小型船のアンカー設備」 新旧対照表

新	旧	備考
<p>the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.</p> <p>2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:</p> <p>(1) such alterations do not affect matters related to classification, or (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.</p> <p>The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.</p> <p>3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.</p>	<p>によって、船級協会に申告されなければならない。</p> <p>2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあつては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。</p> <p>(1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、 又は、 (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。</p> <p>オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が締結されてから 1 年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。</p> <p>3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1.及び 2.に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。</p>	

## 「小型船のアンカー設備」 新旧対照表

新	旧	備考
<p>4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.</p> <p>Note: This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.</p>	<p>4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。</p> <p>備考： 1. 本PR は、2009 年7 月1 日から適用する。</p>	

# 「小型船のアンカー設備」 新旧対照表

新	旧	備考
<p><b>鋼船規則 CS 編 小型鋼船の船体構造及び船体艀装</b></p> <p><b>23 章 艀装</b></p> <p><b>23.1 アンカー, チェーン</b></p> <p><b>23.1.1 一般</b></p> <p>表 CS23.1 (省略)</p> <p>(備考)</p> <p>1. アンカーチェーンの長さは、連結用シャックルを含む長さとして差し支えない。</p> <p>2. 表 CS23.1 のようにアンカーを艀装数に応じて定める方法の代替として、<u>IACS 勧告 No.10 付録 B に記載された計算方法を使用して差し支えない。なお渡船は除く。</u></p> <p><b>23.1.5 チェーンロッカ</b></p> <p>-7. アンカーチェーンの船内端を船体構造に固定する装置を備えなければならない。本装置及びその支持構造は、アンカーチェーンの切断荷重の 15%以上 30%以下の力に耐えるものであることを推奨する。</p> <p>附 則</p> <p>1. この規則は、2024 年 7 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。</p> <p>2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあつては、この規則による規定にかかわらず、なお従前の例による。</p>	<p><b>鋼船規則 CS 編 小型鋼船の船体構造及び船体艀装</b></p> <p><b>23 章 艀装</b></p> <p><b>23.1 アンカー, チェーン</b></p> <p><b>23.1.1 一般</b></p> <p>表 CS23.1 (省略)</p> <p>(備考)</p> <p>1. アンカーチェーンの長さは、連結用シャックルを含む長さとして差し支えない。</p> <p>2. (新規)</p> <p><b>23.1.5 チェーンロッカ</b></p> <p>-7. アンカーチェーンの船内端を船体構造に固定する装置を備えなければならない。本装置及びその支持構造は、アンカーチェーンの切断荷重の 15%以上 30%以下の力に耐えるものでなければならない。</p>	<p>IACS UR A1(Rev.8) A1.2.4 A1.3.2</p> <p>IACS Rec.10 1.3.2(a), (b)</p>

## 「小型船のアンカー設備」 新旧対照表

新	旧	備考
<p style="text-align: center;">IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009)</p> <p style="text-align: center;">英文 (正)</p> <p>1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.</p> <p>2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:</p> <p>(1) such alterations do not affect matters related to classification, or</p> <p>(2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.</p> <p>The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.</p>	<p style="text-align: center;">仮訳</p> <p>1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。</p> <p>2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあつては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。</p> <p>(1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、</p> <p>(2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。</p> <p>オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が締結してから 1 年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。</p>	

## 「小型船のアンカー設備」 新旧対照表

新	旧	備考
<p>3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.</p> <p>4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.</p> <p>Note: This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.</p>	<p>3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前1.及び2.に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。</p> <p>4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。</p> <p>備考： 1. 本PR は、2009 年7 月1 日から適用する。</p>	

**「小型船のアンカー設備」 新旧対照表**

新	旧	備考
<p align="center"><b>鋼船規則検査要領 CS 編      小型鋼船の船体構造 及び船体艤装</b></p> <p align="center"><b>CS23    艤装</b></p> <p><b>CS23.1    アンカー、チェーン</b></p> <p><b>CS23.1.4 チェーンロッカ</b>  <u>通常の錨泊作業時にアンカーの使用を意図していない、もしくは最低でも 4 点のアンカーで位置決めする場合においては、次の(1)から(5)の要件を満足する場合、アンカーチェーンに代えてワイヤロープを使用して差し支えない。</u></p> <p>(1)    <u>ワイヤロープは、規則 CS 編表 CS23.1 に規定するアンカーチェーンの 1.5 倍の長さとし、規則 L 編 3 章表 L3.5 に規定する第 1 種チェーンと同等の強度を有すること。</u></p> <p>(2)    <u>アンカー重量は、規則 CS 編表 CS23.1 に従い、チェーンを使用したアンカーと比較して 25%増加させること。</u></p> <p>(3)    <u>ワイヤロープとアンカーの間には、12.5 m 又は格納されたアンカーからウインチまでの距離のいずれか短い方の長さのアンカーチェーンを備えること。</u></p> <p>(4)    <u>ワイヤロープと接触する面（船首材を含む。）は、ワイヤロープの直径の 10 倍以上の丸みをつけること。</u></p> <p>(5)    <u>スチール製ワイヤロープはメーカーの推奨に基づき、目的に適合するものを選択し、保守点検のための取扱説明書を船上に保持すること。</u></p>	<p align="center"><b>鋼船規則検査要領 CS 編      小型鋼船の船体構造 及び船体艤装</b></p> <p align="center"><b>CS23    艤装</b></p> <p><b>CS23.1    アンカー、チェーン</b></p> <p><b>CS23.1.4 チェーンロッカ</b>  <u>長さが 40 m 未満の船舶においては、次の(1)から(3)の要件を満足する場合、アンカーチェーンに代えてワイヤロープを使用して差し支えない。</u></p> <p>(1)    <u>ワイヤロープは、規則 CS 編表 CS23.1 に規定するアンカーチェーンの 1.5 倍の長さとし、規則 L 編 3 章表 L3.5 に規定する第 1 種チェーンと同等の強度を有すること。</u>  (新規)</p> <p>(2)    <u>ワイヤロープとアンカーの間には、12.5 m 又は格納されたアンカーからウインチまでの距離のいずれか短い方の長さのアンカーチェーンを備えること。</u></p> <p>(3)    <u>ワイヤロープと接触する面（船首材を含む。）は、ワイヤロープの直径の 10 倍以上の丸みをつけること。</u>  (新規)</p>	<p>IACS UR A1(Rev.8) A1.5.1.</p>



## 「小型船のアンカー設備」 新旧対照表

新	旧	備考
<p style="text-align: center;">附 則</p> <p>1. この達は、2024 年 7 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。</p> <p>2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあつては、この達による規定にかかわらず、なお従前の例による。</p> <p style="text-align: center;">IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009)</p> <p style="text-align: center;">英文（正）</p> <p>1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.</p> <p>2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:</p> <p>(1) such alterations do not affect matters related to classification, or</p> <p>(2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the</p>	<p style="text-align: center;">仮訳</p> <p>1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込み者によって、船級協会に申告されなければならない。</p> <p>2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 <b>Procedural Requirement</b> の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあつては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。</p> <p>(1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、 又は、</p> <p>(2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。</p>	

## 「小型船のアンカー設備」 新旧対照表

新	旧	備考
<p>classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.</p> <p>The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.</p> <p>3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.</p> <p>4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.</p> <p>Note: This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.</p>	<p>オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が締結されてから 1 年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。</p> <p>3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前1.及び2.に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。</p> <p>4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。</p> <p>備考： 1. 本 PR は、2009 年 7 月 1 日から適用する。</p>	